



学校だより

平成30年2月23日



3月号

横浜市立港南台第一小学校

Tel:832-0210 Fax:832-7771 Email:y3konan1@edu.city.yokohama.jp

一年を振り返って

校長 大石 礼子

正門近くの梅の木に白い花が咲きました。また、校庭の所々でスイセンの花が私たちの目を楽しませてくれます。春が近づいていることを感じる季節となりました。正門の花壇は、緑のボランティアの皆様により華やかで美しい花が咲きそろいました。それらの草花に委員会の子どもたちが、協力して水やりを行っています。自分たちの役割をしっかりと果たそうとする子どもたちの成長を感じます。

現在、平昌冬季オリンピックにおいて多くの選手が活躍しています。メダルを獲得した選手は、多くの期待に応えることのできた安堵感や自分を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを伝えていました。また、目標にしていた結果を出せなかった選手も真摯に「自分のやるべき事をしっかりやってきました。」という趣旨の話をしていました。目標に向かって努力を積み重ね、結果としてメダルの獲得ができていなくても、技術だけでなく人として大きく成長することができるのだとアスリートの姿を通して強く感じます。そして、その姿に感動しました。その中で、印象に残ったことがあります。スピードスケートの小平選手にコーチが伝えた話の新聞記事です。厳しい練習に耐え、周囲から「頑張れ」と言われることに苦しくなっていた小平選手にコーチから「本当のガンバレは、顔が晴れたこと。つらくても笑顔をわすれちゃいけない。」何気ない言葉ですが、その言葉を大切にしている小平選手は厳しい練習に耐え、自身の成長を実感してきたのではないのでしょうか。

2月に『なかよしの会』を1年生が計画して、今春入学してくる子どもたちを招きました。体育館には、たくさんのお店が開店して年長の子どもたちは、楽しい時間を過ごせたようでした。ゲームやぬり絵コーナーなどをポイントラリーのように回るのですが、1年生は、やさしく声をかけたりルールを教えてあげたりして『なかよしの会』を盛り上げていました。どの子どもたちも自信をもって堂々と話したり行動したりする姿に、この一年の成長を感じました。もうすっかり、2年生のようで立派でした。他の学年の子どもたちも、日常の学習や行事などを通して体の成長とともに、友達とのかかわりで悩んだり解決したりする中で多くのことを学び、心の成長もありました。

成長をどのようにとらえるかは、様々だと思います。「できなかったことができるようになった。わからなかったことがわかるようになった。」など、人から見て気づくこともあります。子どもたちの中には、自分の成長を他の人と比べて確かめることがあります。人と比べて自分の成長に気づくのではなく「目標に向かって努力をし続けたらできるようになった。」「あきらめないで、根気強く続けたられた。」と自分自身で実感してもらいたいと考えています。

先に書きました梅の木は、夏に実らせたあとに冬を越すため準備をして、冬の厳しい寒さが刺激となって開花するそうです。春に咲く花には、厳しい寒さが必要であると聞いたことがあります。これは、子どもたちの成長にも似ているように感じます。苦手なことも続けてみる、失敗を繰り返してもあきらめないで努力を積み重ねることが成長につながるということを子どもたち自身が実感してほしいと思います。「できた、できなかった。」ではなく、自分なりの努力や頑張りを見つめさせて結果や成果にとらわれすぎないように、子どもたちの成長を見守り支援していきます。